

京都精神保健福祉士協会

きょうと通信

2001年5月

事務局：高木神経科医院デイケアおいけ内

〒604-0845 京都市中京区烏丸通御池上ル都ビル2階

TEL075(222)0452 FAX075(222)1052

1. 設立総会の報告

去る4月7日私たちは京都における精神保健福祉士・精神保健福祉援助職能団体として「京都精神保健福祉士協会」を発足させるべく、設立総会および記念式典を開催しました。発足については、従来からの「京都精神医学ソーシャルワーカー連絡協議会」を母体として時間をかけて協議検討してきたところですが、この日はその呼びかけに対し80名を超えるソーシャルワーカーが集まりました。

まず、設立総会に先立ち京都精神医学ソーシャルワーカー連絡協議会の1999年度及び2000年度の会計報告がなされ、2000年度の繰越金を新たな会に引き継ぐことが承認されました。続いて設立総会の趣意書が全員の拍手で承認され、京都精神医学ソーシャルワーカー連絡協議会は発展的に解消、新しく京都精神保健福祉士協会の設立を確認しました。

第一回総会は京都府宇治保健所の是恒氏を議長に選出し、規約、役員、2001年度事業計画、並びに2001年度予算が全員の拍手で承認されました。以上の内容は同封の別紙をご覧ください。

その後、京都精神保健福祉士協会設立記念式が行われ、来賓として以下の方々がお越しくださいました。

広兼 明氏（京都精神科医会会長）

岩瀬 則文氏（京都精神科診療所協会会長）

小池 清廉氏（京都精神保健福祉協会会長）

城島 幹夫氏（京都府精神障害者家族会連合会副会長）

野地 芳雄氏（京都市精神障害者家族会連絡協議会事務局長）

また、京都精神病院協会会長喜多健氏からは祝電をいただきました。

記念講演は、やどかりの里理事長の谷中輝雄氏にお越しいただき『精神保健福祉士に期待すること』というテーマで題しお話いただきました。谷中氏は静かな中にも熱いものを感じさせる語り口で、私たちに精神保健福祉施策の大きな流れを見据えて「在る」ことの必要性和、一方で精神障害者の人権を守る責務を果たすためのしなやかな感性を備えることの重要性を説かれました。京都精神保健福祉士協会設立の門出にふさわしい気のひきしまる内容だったと思います。

2. 6月例会のご案内

地域システム構築の取り組みについてスポットをあてます。

地域でのネットワークを着実に広げ活動の実績を重ねてこられた、共同作業所「友輪館」、西京保健所洛西支所のこれまでの実践経過の報告をいただき、意見交換をしたいと思います。みなさまふるってご参加下さい。

なお、集合場所からの移動手段の都合がありますので、参加される方は事務局までFAXにてご連絡ください。締め切りは、5月25日です。

日 時 2001年6月2日（土）14：00 阪急桂駅西口集合（時間厳守！）
会 場 精神障害者共同作業所「友輪館」
 京都市西京区山田四の坪町12－8小島ビル3階 tel 075(392)0267
テーマ 西京区のとりくみ～地域システムの模索～
報告者 田所美智子氏（西京保健所洛西支所）
 久保修氏（友輪館）

3. 入会手続きのご案内

京都精神保健福祉士協会については京都精神医学ソーシャルワーカー連絡協議会会員であった方も改めて入会手続きが必要になります。次回の「きょうと通信」（2001年6月号）からは協会への入会手続きをされた方のみの発送となりますのでご注意ください。入会希望の方は同封の入会申込書に必要事項を記入の上事務局まで送付ください。その後、事務局より送付させていただきます振込用紙にて年会費の納入をお願いします。（今回は既に入会申し込みをされている方に振替用紙を同封しています。）